

海外感染症流行情報 2025 年 2 月

(1) 全世界: インフルエンザ、COVID-19 の流行状況

北米ではインフルエンザの患者数が 2 月に入っても増加していますが、ヨーロッパや東アジアでは減少傾向にあります (WHO Influenza update 25-2-20)。日本でも 2 月になり患者数が減少しており、ほとんどの都道府県では注意報以下になりました (厚生労働省 25-2-21)。

COVID-19 の患者数は日本や米国で 2 月になり減少しています (厚生労働省 25-2-21、米 CDC 25-2-21)。欧州では一部の国を除き、今冬は患者数増加がみられませんでした (ECDC 25-2-21)。ウイルスの種類は XEC 型が半数近くを占めていますが、今年に入り KP 型の子孫にあたる LP8.1 型が増加傾向にあります (WHO 25-2-13、国立感染症研究所 25-2-17)。

(2) 全世界: エムポックスの流行状況

エムポックスで重症化しやすい 1b 型の患者は、アフリカのコンゴ民主共和国、ブルンジ、ウガンダなどで引き続き発生しており、ここ 1 ヶ月はウガンダでの患者数が増えています (WHO Mpox 25-2-13)。アフリカ以外ではタイ、英国、UAE など、新たな患者が確認されました。

(3) アフリカ: 東アフリカでのウイルス性出血熱の発生

東アフリカのウガンダでエボラ出血熱の患者が発生しました。首都カンパラ近郊などで 9 人の患者が確認されており、このうち 1 人が死亡しました (WHO 25-2-21)。初発患者は医療従事者で、家族内および病院内で拡大した模様です。タンザニアの東部では、マールブルグ熱の流行が 1 月中旬から発生していますが、2 月になり患者の増加は見られていません、(WHO 25-2-14)。現在までに疑い患者は 10 人

で(2人確定)、全員が死亡しました。

(4) 北米: 米国での鳥インフルエンザ H5N1 型の流行状況

米国で昨年から発生している鳥インフルエンザ H5N1 型ウイルスの患者は、2月下旬までに 70 人になりました(米国 CDC 25-2-24)。このうち、ウシや家禽の牧場労働者が 65 人で、大多数が軽症ですが、2月中旬にワイオミング州で発病した患者は、自宅で飼っている家禽から感染しており、入院中です。

(5) 北米: 米国とカナダでの麻疹の流行

米国では今年になり麻疹患者が 93 人発生しています(米国 CDC 23-5-2-21)。大多数の患者はテキサス州の大学での感染でした(ProMED 25-2-21)。カナダでも東部のオンタリオ州で、1月から 92 人の麻疹患者が報告されています(ProMED 25-2-22)。欧米諸国に滞在する場合でも、麻疹感染の既往が無い人や、ワクチンを 2 回受けていない人は、ワクチンの追加接種を受けることを推奨します。

(6) 南米: ブラジル、コロンビアでの黄熱患者発生

米州保健機関(PAHO)は 25 年 2 月 6 日に南米での黄熱流行に関するアラートを発しました。患者が都市周辺でも発生しているためです。ブラジルではサンパウロ州で 11 人の患者が報告され、うち 8 人が死亡しました(ProMED 25-2-15)。コロンビアでも首都ボゴタ近郊のトリマ県で、29 人の患者(14 人死亡)が報告されています(ProMED 25-2-16)。

(7) 南米: ブラジルでのデング熱患者増加

中南米では昨年、過去最多となる 1300 万人のデング熱患者が発生しており、このうち 1000 万人がブラジルからの報告でした(米州保健機関 25-2-7)。同国のサンパウロ州では、今年 1 月も昨年同期の

2 倍にあたる 20 万人の患者が確認されており、さらに大きな流行になることが懸念されています

(ProMED 25-2-24)。